

瀬町境まで、及び大内原から国道三―四号分岐までの間引き続き施行計画をお願いしたい。

また、塩原・郡線の橋梁「大内原橋」の早期着手、併せて道の駅「酒蔵奥出雲交流館」前の「ゆば橋」の改良をお願いしたい。

答2 国道四三二号は、亀高地区において現在、二箇所で事業中であり、今後は、残りまず亀高町から安来市境間、大内原から湯の原間につきましても全線改良整備について、県へ要望して参ります。

なお、大内原橋の拡幅については、今年度から調査を開始し、「ゆば橋」については、今後の事業導入の可能性について検討します。(建設課)

問3 行財政改善として庁舎の一元化について
答3 庁舎建設については、布勢、三成、横田地区と同様の回答となります。(総務課)

阿井地区

問1 今後の雇用の場所確保について
雇用の場所確保、福祉施設の増設・拡充と介護従事者の待遇改善をお願いします。

近隣の市町では最も低い設定で、最大利用で約一万五千元となっております。

軽減策については、生活保護世帯は全額減免、また、生活保護世帯に準ずる世帯は一／二を減免しています。

さらに、給食費も全額町で負担しています。

なお、「保育料の無料化」等については、現状を具体的に把握した上で、検討すべき課題と考えています。

問3 仁多堆肥センターの堆肥品質について
ここ数年、堆肥の品質が以前より著しく劣っているとの評判であり、早急な原因究明と対策を図っていただくよう要望します。

答3 近年攪拌機を中心に故障が多発し、本年度、町において予算を計上し、一般攪拌機の修理とプロアー八台を取替えました。

また、堆肥舎におけるタイヤローダーによる切替しは、従来と同様最終製品に仕上げのまでに十一〜十二回行い、品質を保つよう努めています。今後、町内における良質な堆肥の製造と供給散布体制の



答1 雇用の場の確保については、昨年度、観光牧場に参入頂いたほか、今年度に入りリコールセンターの誘致を進めています。(地域振興課)

特別養護老人ホームの二十床増床と短期入所生活介護施設十五床の増床、そして認知症対応型のデイサービスセンターの設置を計画しています。

また、介護福祉施設の増床や老人ホーム等必要な施設の整備については、プロジェクトチームを設けて検討していきます。(健康福祉課)

問2 少子化対策について
若者の定住化を図り、結婚

確立に努めて参ります。

(農業振興課)

鳥上地区

問1 道路・観光案内看板の設置について
ヤマタノオロチ伝説にまつ

わる鳥上地区内に、道路・観光案内等の看板設置を要望します。

答1 地区内への道路・観光案内標識の設置については、商工会鳥上支部において同様の計画があることから、道路管理者である県を含めた関係者と設置場所や必要性など十分考慮し、今後検討いたします。

(地域振興課)

問2 船通山登山口の駐車場とトイレの整備、山頂トイレの設置について

答2 船通山にある二つの登山道の内、亀石登山口には近年県においてトイレを整備いただき、山頂トイレについては、引き続き要望を行っております。

また、鳥上滝登山口トイレ及び簡易トイレを設置いたします。ワクワクプールについては、ワクワクプール付近にトイレを整備する方向で検討しています。



に向けた出会いの場の提供、そして結婚後、奥出雲町に居住し家庭を築く場合の祝い金出産祝い金を要望します。

また奥出雲病院に「育児相談コーナー」の充実及び小児科の常時対応をお願いします。

答2 現在、本町では「結婚祝い金」や「出産祝い金」の支給制度は設けていませんが、今後、少子化対策の一つとして検討して参りたいと考えています。(町民課)

奥出雲病院における子育て支援業務については、分娩予定者を対象とした「マタニティクラス」、出産後は、新生児訪問、以後定期的に乳児、幼児健診を実施しています。

なお、小児科の診療は週3回実施していますが、今後も常勤医師の招聘について、引き続き努力して参ります。

(奥出雲病院)

問3 人材育成について
小・中の義務教育段階において、地域を体感的に知り、

将来を展望する能力を育てる「ふるさと教育」の推進を要望します。

答3 本町では、町内の全小中学校で、鳥根県の百〇〇補助を受け「ふるさと教育推進

今後、設置場所や利用形態などを勘案し、一部が国定公園であることから、今後県と協議を行います。(地域振興課)

問3 住宅の新・改築等への助成と地元木材の振興について
現在、県産木材や石州瓦を

使用した新築や増改築に対して県等から最大で四十万円を助成する制度があり、地元木材の振興を図る上からも、奥出雲町産の木材を使用した場合に町からの上乗助成の検討をお願いします。

答3 町の上乗せ助成は今のところ考えていませんが、

事業」を実施しています。昨年度からは、地域との関わり深い公民館との連携を強化し、年間を通じた学習活動を展開しています。

また、一年間の成果を発表する「ふるさと教育フェスティバル」、各種の展示発表などにより、子ども達はふるさとへの誇りを再認識し、郷土を愛する心を醸成しています。

このほかにも、吾妻山でのキャンプ活動、たたら体験学習等ふるさと・奥出雲町ならではの教育活動を積極的に行っていきます。(教育委員会)

三沢地区
問1 テレビの「地デジ」対応について
テレビの「アナログ」放送は、二年後に「地デジ」テレビへと全面的に移行しますが、

各家庭では困惑されているところも多い現状で、三点について要望します。

町内全世帯にチューナー一台を無償配布
注文による一括購入で、希望する家庭が安価で購入できるように

仁多地域の各自治会集会所

関係機関の取り組み状況や波及効果の程度も勘案しながら検討します。

なお、町では現在、地域材利用促進として、亀高小学校の体育館建設、坂根駅舎の改築、次年度計画であります亀高小学校の校舎建設にあたり、最大限木材使用としております。(農林土木課)

横田地区

問1 役場庁舎の有効活用について
現在の二庁舎方式は合併時

における旧両町民の融和、協調、共栄の象徴であります。今後二庁舎方式を堅持していただきたい。

答1 庁舎につきましても、布勢、三成、亀高地区の質問と同様の回答となります。

(総務課)

問2 住環境の整備促進について
大市東地区に地下タンクの

設置(二箇所)を要望します。街づくり計画の促進
旧横田公民館は、取り壊し撤去になりますが、現在の大市瓜屋線の拡幅案が住民説明された経緯がありますので、これが実現するよう強く要望

等には、旧町時代に町から設置されたテレビがあり、町の方で責任をもって「地デジ」化していただきたい。

答1 デジタル放送をご覧になるための、チューナーや地デジ対応テレビについては、基本的に、各ご家庭で用意いただくもので、町が全世帯に無料配布することは考えていません。

国や県の動向を踏まえながら、一定の基準を設けた上で検討します。

旧町時代に、各集会所に設置したテレビは、インターネットの楽しさや、便利さを体験していただくために、通信機器のモニターとして採用したテレビです。

今後デジタル放送の視聴をお考えの場合は、必要な機器を用意され、視聴いただきたいと考えます。(情報政策課)

問2 幼稚園の保育料について
幼稚園への入園児の減少を少しでも食い止める方策として、町独自に「保育料の無料化」若しくは「同一家庭からの入園児数による軽減策」等の方策をお考えいただきたい。

答2 奥出雲町の保育料は

答2 防火水槽については、年次的に整備を進めているところですが、要望箇所がまとまり、補助事業の導入が可能となった時点で整備することになりますので、ご理解ください。

解体撤去の場合、その敷地を使い、町道大市瓜屋線を拡幅することは、平成十二年に地元関係者の皆様に説明させていただきました。

旧公民館の解体に伴う跡地利用については、町道の拡幅分の用地の確保も計画の中に入れて検討して参ります。

行政サービス、情報

問3 行政サービス、情報

除雪計画、作業状況を町民にその都度周知されるよう要望します。

答3 除雪作業の周知については、気象状況等の変化により除雪指令を発令する時間は異なりますが、告知放送などを通じてお知らせします。

なお、作業状況につきましては、雪質や積雪の状況により作業の進捗が変化しますので、ご理解ください。(建設課)